

なんだ・かんだ

◆ 人生会議の勧め ◆

「理想の最期 人生会議の勧め」医療・介護の希望 家族と共有
こんな特集記事が日本経済新聞に掲載されていました。終末についての特集です。

「理想の最期」について考えたり、誰かと話し合ったりしたことはあるだろうか。「最期」はそもそも話題にしづらい。もしもの時に備えて、元気なうちに医療や介護について周囲と話し合っておくことは、本人はもちろん家族にとってもメリットがある。という提案から始まる記事でした。

思い起こせば、十数年前に私の父親が亡くなった時、何度か誤嚥性の肺炎を起こして入院を繰り返し、主治医から食事を口から接種すると誤嚥を引き起こすので、点滴のようにチューブで栄養を直接胃に送る「胃ろう」にするか判断を求められました。その時父はまだしっかりして自分で判断することが出来る状態で、「出来るだけの処置をお願いします」と回答しました。その時主治医から家族には、口から食事が出来なくなって「胃ろう」にするのは「延命措置です」と言われたのを記憶しています。

もしその時父が判断できない状態だったらどうしただろうと考えると、きっと家族で相当悩んだらだろうと推測します。また、判断した後もこれで良かったのか、判断は正しかったのかと長く思い悩んだに違いありません。

私たちは父が未だしっかり自分の意志を相手に伝えることが出来る状態だったからよかったのですが、厚労省によると、終末期には約7割の人が自分で意思決定できなくなるそうです。本人が望む医療や介護のあり方を事前に話し合っておけば、いざという時に周囲が判断しやすいし、本人の意思を尊重できるのはもちろん、身近な人の心理的負担を軽くすることが出来ます。

欧米では、終末期に望む医療や介護について家族や医療・介護関係者と話し合うことを「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」と呼び、日本では「人生会議」呼ばれているそうです。

ACPに取り組むには、まず自分の余命が短いという想定で大切にしたいことはなにかを考え、次に意思を代弁してほしい人は誰かを考え、準備ができた相手にも伝えて対話を重ねる。健康状態によっては医師の助言も参考にして行く。更に市販の「エンディングノート」を書き、家族と共有する形も有用だそうです。

ただし、希望は時間とともに変わることもあり、考えも変化するものなので人生会議は一度だけで終わりにしないで、折に触れて話し合いをして見直しをする事が必要でそうです。

最近、定期的に通っている病院でアンケートが取られました。「がんの告知を自分自身が受けたいか、家族だけに告知して本人には告知しないか」という内容でした。

私は、以前ならば家族だけにしてもらいたいと回答したと思いますが、今回は自分自身に告知して欲しいと回答しました。

私も今年64歳になりますが、そろそろ人生会議を開く必要があるなと感じている次第です。

■ 来年の休日 ■

当社の来年の休日カレンダーは例年と大きく変わります。週休二日となりますが、建設部と営業部の休日が異なります。

①会社全体で土曜日は全休となり週休二日となります。

②建設部は5月を除き、第1・3(5月のみ第2・4)の水曜日を休日とし、同週の土曜日を出勤とします。ただし、土曜日は現場対応のみとなり、会社への電話も受信する事が出来ません。

建設部は仕事柄、工場がお休みの時に工事に入ることが多い為に、平日に休みを設けることになりました。ご理解の程宜しくお願い致します。

今年の夏も猛暑予想

2月15日に関東と北陸、四国で「春一番」が吹き、東京の最高気温は21℃と4月下旬並みの気温となり、ニュースでは薄着で街を歩く人々が映っていました。

その後20℃を超す様な異常に暑い日が続いたと思ったら、先週末の三連休は寒気が南下し今度は10℃を下回り、寒暖差が10℃以上となり体調を崩す方も多かったと思います。

気象庁によると、東京の昨年の平均気温は17.6℃で1990年と比べ4℃も上がっているそうです。昨年が観測史上最も暑い夏でしたが、今年も暑くなりそうです。気象庁でも「今夏はここ10年の暑さを上回って、昨年に匹敵する様な猛暑になる可能性があり、残暑も厳しいでしょう。」という予報を出しています。

猛暑と同時に心配なのは自然災害です。昨年各地で線状降水帯や台風による災害が発生しています。私の住む場所が今年災害に見舞われない保証はありません。しかし残念ながら予防することは出来ません。温暖化対策は急務です。

代表取締役 服部 敏一郎

社員ブログ

● 魔法学校に入学しました ● 営業二課 武田 亜子

新『ホグワーツ・レガシー』です。ホグワーツ魔法魔術学校は、ハリー・ポッターやニュート・スクランダーの母校。プレイヤーはそこで学び、主に課題をこなすことにより多くの魔法を覚えます。そして、それをかなり自由に操ることができるようになります。美しく造りこまれたオープンワールドで！ハリーポッターとファンタスティックビーストの映画そのままの世界の中を、自由に動き回れます。ホグズミードでバタービールを飲むことだってできる。自由に経験を積み、闇落ちも望めるようです。

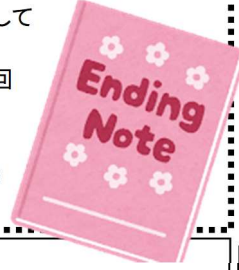
私は、組み分け帽子によりレイブンクローの寮生となりました。やっとウィンガーディアム・レビオーサを覚え、マダム・コガワからの飛行訓練により、箒に乗る姿も徐々に安定してきたところです。

思い出も増えました。薬草学でのマンドレイク植え替え実習は、忘れがたいもののひとつです。もうやりたくない。

探索の途中では、わちゃわちゃと茂みに駆け込むニフラーの集団を見たことがあります。魔法動物学の授業を受けた後には、あのバッグを使って捕獲し、飼育することもできるようになるはず。期待が膨らみます。

次々に出される課題、魔法と知恵を駆使しなければ解けない数々の謎や、試練。勇気が必要な探索や、闇の魔法使いなど手強い敵たちとの戦い。この世界で生きる私には、やるべきことが沢山あり、討たねばならぬ敵がいます。

運命に導かれた者として、古代魔術を守り抜くため挑み続けます。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail ger@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/